

## 令和6年度 事業計画

### はじめに

令和6年度は、本会にとって極めて重要且つ特別な意味を持つ一年となります。

令和2年2月以降、長きに亘り私たちの日常生活—延いては私たちの事業活動に多大な影響を与え続けてきた「コロナ禍」も、昨年5月に実施された感染症法上の分類見直しを契機として、「収束」に向けて大きく動き出した感があります。一時は閑散としていた学士会館も漸く賑わいを見せ始め、“4年ぶり”となる会合が多く開かれ、この一年はコロナ禍前の賑やかさを取り戻したような一年となりました。

本来であれば、令和6年度は“コロナ明け”を受けての再スタート—事業活動のフル回転を目指す一年となるところですが、一方、ここ数年をかけて検討・準備を重ねてきました学士会館の再開発事業がいよいよ本格化する一年でもあります。学士会館の営業も本年12月には一旦、終了することになり、令和6年度は、今後、5年以上の期間を費やし実施される「学士会館再開発事業」の実質的な初年度となります。

学士会館の再開発事業につきましては、本代議員総会においても改めて説明いたしますが（第2号議案）、実施目的は主に以下となります。

- (1) 文化財的価値の高い「学士会館」を保存し、未来に繋げる
- (2) 将来を見据えて、魅力的な学士会館に再整備する
- (3) 学士会の存続のために、安定的な収益基盤を確立する

本事業を遂行するためには、学士会館（「旧館」部分）の“曳家保存”という技術面での難題、共同事業者である住友商事株式会社との信頼関係の構築・維持、東京都や千代田区を始めとする行政機関の理解と協力、会員及び近隣の皆さまの支援、更には建築資材の高騰に伴う事業費の増大とそれに対応した確実な資金調達の見処付け等々、克服すべき課題が数多く存在します。

本年度はこれらの課題を着実に解決し、学士会館再開発事業の最終的な実施判断を行なう重要な一年となります。長年の課題である会員増強の面からも、今後大きな武器となり得る本再開発事業の推進を第一に掲げながら、それに留まることなく、将来にわたる本会の存続を見据え、魅力ある事業・サービスの構築の他、本会のあり方についても引き続き検討して参ります。

### 1. 令和6年度重点課題

本年度は前記の状況を踏まえ、学士会館の再開発問題を最重点課題に掲げ、以下の課題・事業に取り組んで参ります。

#### (1) 学士会館の再開発事業の推進

- ・共同事業者との「基本協定書」の締結（第1段階：6月締結／第2段階：翌年2月締結）
- ・再開発事業費に対する資金手当ての見処付け、実施に向けた財務的裏付けの確保
- ・東京都・千代田区他、関係行政機関との行政協議の継続実施・許認可等の見処付け
- ・共同ビルに関する「基本設計」作成、内容の確定
- ・旧館の東京都文化財指定に向けた対応実施（専門委員会の運営、「文化財保存活用計画」の策定等）
- ・仮事務所の確保と用途の確定、移転に関する諸手配、移転後の運営方法の検討

## (2) 再開発期間中及び再開発後の学生会事業・会員サービスについての検討・試行実施

－再開発期間中及び再開発後の会員向け事業・サービスのあり方について検討

を行い、新規サービスの試行実施の他、既存事業の見直しを行う－

- ・学生会館再開発事業に連動した記念事業の企画実施
- ・学生会館事業に頼らない会員サービスの企画検討・試行実施
- ・デジタル化による会員サービスの充実と既存事業の見直し
- ・“あらたな学生会像・学生会館の姿” についての情報整理とあり方検討

## (3) 閉館を見据えての学生会館の円滑な運営及び適切な対応

- ・サービス品質の維持を前提とした営業規模・提供サービスの見極め、閉館期間中の円滑な会館運営の実施
- ・再開発に備え、学生会館の歴史、記録、記憶の継承・保存のための施策の検討・実施
- ・閉館及び再開発を見据えた設備改修等に対する必要性の吟味と適切な実施

## 2. 事業計画

本年度は上記の重点課題を推進すると共に、以下の諸事業・諸活動に取り組んで参ります。

### (1) 会員向け事業及び会員サービスの展開

- 『学生会会報』・Web版『NU7』の発行及び内容の充実
- 夕食会・午餐会・関西茶話会・その他イベント（見学会等）の実施
- 「ハイブリッド講演会」（来場＋オンライン）の実施・周知強化
- TEDxを目標とした「プレゼンテーション型イベント」の実施
- Webサイト、SNS等のデジタルツールの強化・利用促進
- 『Web名簿閲覧システム』（デジタル版「会員氏名録」）の利用促進
- 同好会活動の支援、Web交流会等の会員による親睦・交流を目的とした自主的活動の支援
- 提携企業等による会員向け各種サービスの斡旋・提供、新規サービスの開拓

### (2) 七大学及び七大学関連団体との連携及び活動支援

- 七大学及び同窓団体との共催・協働による講演会・交流会・セミナー等の実施
- 「全国七大学総合体育大会」協賛、七大学学生・OB団体活動に対する支援や協力
- 学生会館閉館後の七大学及び七大学関連団体との連携・活動支援方法の検討

### (3) 会員増強に向けた活動の展開

- 七大学の協力による入学時の学生会員登録活動の実施
- 学生会員向けサービスの充実化と情報提供の強化
- 学生会員から正会員への移行施策の検討・試行実施
- 新卒入会者へのフォローアップ